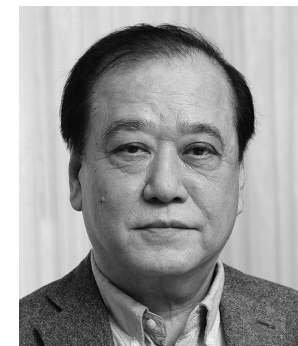


分断するアメリカの行方

ジャーナリスト
中岡 望
のぞむ



*アメリカの保守主義に関心を持った背景
*なぜ中絶問題が最大の焦点になるのか

*お飾りでない下院議長への役割

*マッカーシー議長が解任された経緯

*背後にトランプが控える共和党の現実

*「良識の党」から変質した共和党

*キリスト教原理主義と共和党の関係

*白人労働者が共和党の支持基盤に

*トランプが大統領候補になった理由

*陰謀論やQAnonを好む体質

山縣 それでは開会いたします。（拍手）

今日のご案内のとおり予定しております。豊島逸夫さんがちょっと体調を崩されたので急遽講師の変更になりました。そこでジャーナリストの中岡さんに来ていただきましたけれども、ちょうどアメリカの下院議長の解任の話がありましたので、中岡さんにそのことをお話しただけねばということでお招きしました。急遽来ていただいて、どうもありがとうございます。

ちょっと私の個人的なことになりますけれども、中岡氏はプロフィールに書いてあるように東洋経済のご出身で、私より10歳上で、私が新入社員のと時の上司のような立場だった方です。とにかくアメリカのことは詳しくて、新しい経済学の動向にも非常に熱心で、私は若いときに

そういうことをいろいろ教えていただきました。また、編集局ではとにかく英語のいちばんの使い手で、直接大物を捕まえて東京でインタビューするということ、当時、ゲッパートというアメリカ下院のかなり力を持った方がいましたけれども、ゲッパートさんのインタビューを中岡さんがされまして、私が後ろで聞いていたということもございます。

中岡氏は東洋経済では珍しく、一回留学する人はいるんですけども、何回も海外へ出ていまして、フルブライトンとしてハーバード大学に行かれて、それからハワイにありますイーストウエストセンターでも研究員をされた。最後はワシントン大学では、これは生徒や研究員ではなくて実際に教えていらしたということ